



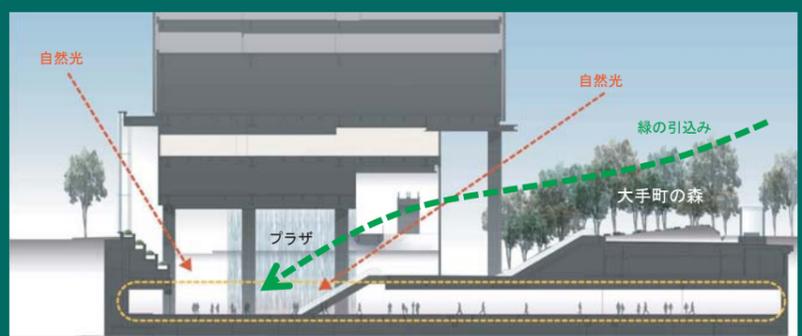
### 新しい都市空間としての自然の森の創出

東京の最も密度の高い都市空間に創出した「大手町の森」は、従来の人工的な広場整備とは一線を画し、野性を併せ持つ自然の森をパブリックスペースとして整備したものである。都市機能の更新と環境貢献、都市の魅力と同時に実現し、都市再生の一つのモデルを示した。



### 立体的な緑の配置による明るい地下空間

森の一部をサンクンガーデンとして地下へ引き込み、地下2階のプラザから地上を見上げたときに豊かな森の姿が見えるようにした。プラザは3層に吹抜けており、さらに両側をガラスとしているため常に自然光が差し込んでいる。建築とランドスケープが一体となることで地下のイメージを一新させる緑と光にあふれた空間を実現した。



### 自然の森の創出

競争と共存の結果である自然の森の姿がつけられる法則を見出し、計画手法として導入



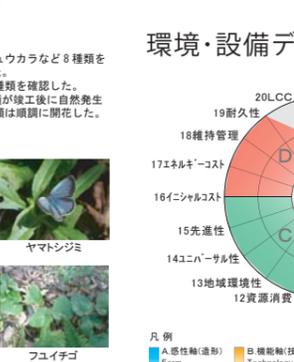
### 地域環境への貢献

約3,600m2のまとまった緑地の整備により、地域の環境負荷を低減し、都市生態系を充実



### プレフォレスト

本施工の3年前に別敷地で仮施工し、様々な検証、改良を実施後、計画地へそのまま移植



### 環境・設備デザイン評価表

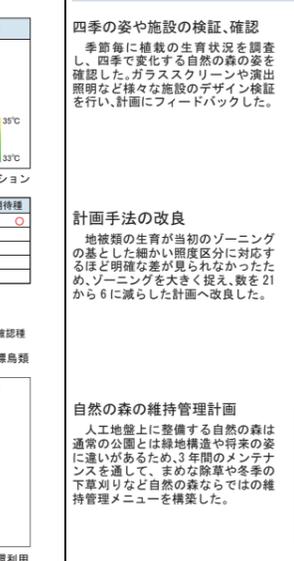
環境・設備デザイン評価表



評価項目	評価内容	評価結果
A. 感性軸 (感性)	01 審美感	◎
B. 機能軸 (技術)	02 調性	◎
C. 社会軸 (環境)	03 象徴性	◎
D. 経済軸 (LCC)	04 象徴性	◎
	05 完成度	◎
	06 機能性	◎
	07 効率性	◎
	08 利便性	◎
	09 安全性	◎
	10 先導性	◎
	11 環境負荷	◎
	12 資源消費	◎
	13 地域環境性	◎
	14 21ゾーン	◎
	15 先導性	◎
	16 ニルコスト	◎
	17 ナルコスト	◎
	18 維持管理	◎
	19 耐久性	◎
	20 LCC	◎

### モニタリング結果 (1年目)

鳥類: 計画時に誘致目標とした14種類のうちシジュウカラなど8種類を確認した。1年目としては良好な結果であった。



### モニタリング1年目確認種 (抜粋)

- シジュウカラ
- オオアオイトトンボ
- ヤマトシジミ
- ニリンソウ
- カタクリ
- フユイチゴ

種	確認状況
シジュウカラ	確認
オオアオイトトンボ	確認
ヤマトシジミ	確認
ニリンソウ	確認
カタクリ	確認
フユイチゴ	確認

種	確認状況
シジュウカラ	確認
オオアオイトトンボ	確認
ヤマトシジミ	確認
ニリンソウ	確認
カタクリ	確認
フユイチゴ	確認

### 自然の森の維持管理計画

人工地盤上に整備する自然の森は通常の公園とは緑地構造や将来の姿に違いがあるため、3年間のメンテナンスを通して、まめな除草や冬季の下草刈りなど自然の森ならではの維持管理メニューを構築した。

種	確認状況
シジュウカラ	確認
オオアオイトトンボ	確認
ヤマトシジミ	確認
ニリンソウ	確認
カタクリ	確認
フユイチゴ	確認

種	確認状況
シジュウカラ	確認
オオアオイトトンボ	確認
ヤマトシジミ	確認
ニリンソウ	確認
カタクリ	確認
フユイチゴ	確認